

第365回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和2年10月6日(火) 11:00~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Double Eyes
[放送日時] 令和2年9月28日(月)11:30~14:55
[出演者] ユーコ・タケダ
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
- [会社] 代表取締役社長 今井学
制作本部長 杉山啓充
編成事業本部長代理 安田信章
制作本部副部長 安原明子
制作本部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 10月の組織変更及び人事異動の件
- 日経トレンドィラジオ特集の件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix Double Eyes
[放送日時] 令和2年9月28日(月)11:30~14:55
[出演者] ユーコ・タケダ
[番組内容] 視点のダイバーシティを捉えた生ワイド番組。
2年目に入り、コーナーも大幅リニューアル!

[聴取・合評での主な意見]

- 小野委員 バランスが取れている。前回は自らの海外経験を押し付けている印象だったが、今回は日本人目線で海外を捉えている。昼の番組としては聴きやすい。前回と比較し、格段に良くなった。
- 加藤委員 良くも悪くも「ユーコ節」は健在。パーソナリティが強く出ている。映画の紹介コーナーでは、この作品を取り上げる理由がよく分からなかった。トルコの方とのインタビューでは、彼の良さをうまく引き出せていない。話を丸め込むのではなく、引き出すべきだ。

- 服部委員 歯切れがよく聴き易い。フリートークは生き生きしているが、ニュース読みはぎこちなく聞こえる。各コーナーはとても面白い視点があるが、例えば酒税であれば海外との比較など、もう一步の深掘りが欲しい。トルコの方とのインタビューは、事前打合せが足りないのではないか。前もってポイントを押さえるべきだ。全体的にしゃべりが単調で、もう少しメリハリが欲しい。
- 山本委員 以前より聴き易くなった。映画の話は面白く、作品を観たくなった。トルコのインタビューはとても忙しい印象。先方が話している途中でユーコが被せてしまうのが、もったいない。
- 角田副委員長 全体に話すスピードが早すぎて、内容が入ってこない。彼女の実体験が全く聞かれなかった。全ての話題に対して、コメントが無い。トークの引き出しが少なく、浅い。スタッフとの練った打合せが必要だ。長い番組は、ちょっと苦しいかもしれない。館山寺を紹介したコーナーは、地元の人しか分からない構成だ。
- 木宮委員長 前回よりも雰囲気柔らかくなり聴き易くなったが、様々なご意見が出た。彼女の読み上げる原稿が頭に入ってこない。その後のフリートークは分かり易いので、トピックス紹介原稿は短めが良いだろう。また、竹内結子さんの話題をコーナーの出演者に事前告知無しにいきなり質問するのはかなり危険で、事前打合せをするべきだ。「ラジオで見る静岡」コーナーは、誰に向けての放送なのかが分からない。なぜ今更、県内リスナーに館山寺を紹介するのか？ラジコを使って聴いている県外リスナーをターゲットにするなど、徹底した方向性が必要なのでは。
- 事務局 番組の中でコーナーが多すぎるという事はないか？もしくは、3時間半という番組の長さが問題なのか？
- 角田副委員長 彼女の個性が活きるのは、短い番組だと考える。
- 加藤委員 知らない事を聞ける「質問力」がポイントだろう。引き出し方だ。
- 会社サイド 前回(第364回)では3人の世代間トークやギャップの面白さなどを評価頂いた一方、新人鈴木の知識量などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するよういたします。

次回開催日 令和2年11月10日(火) 11:00~12:30を予定

以上

番組審議会委員長
木 宮 敬 信